
グリーンファイナンス市場の動向について

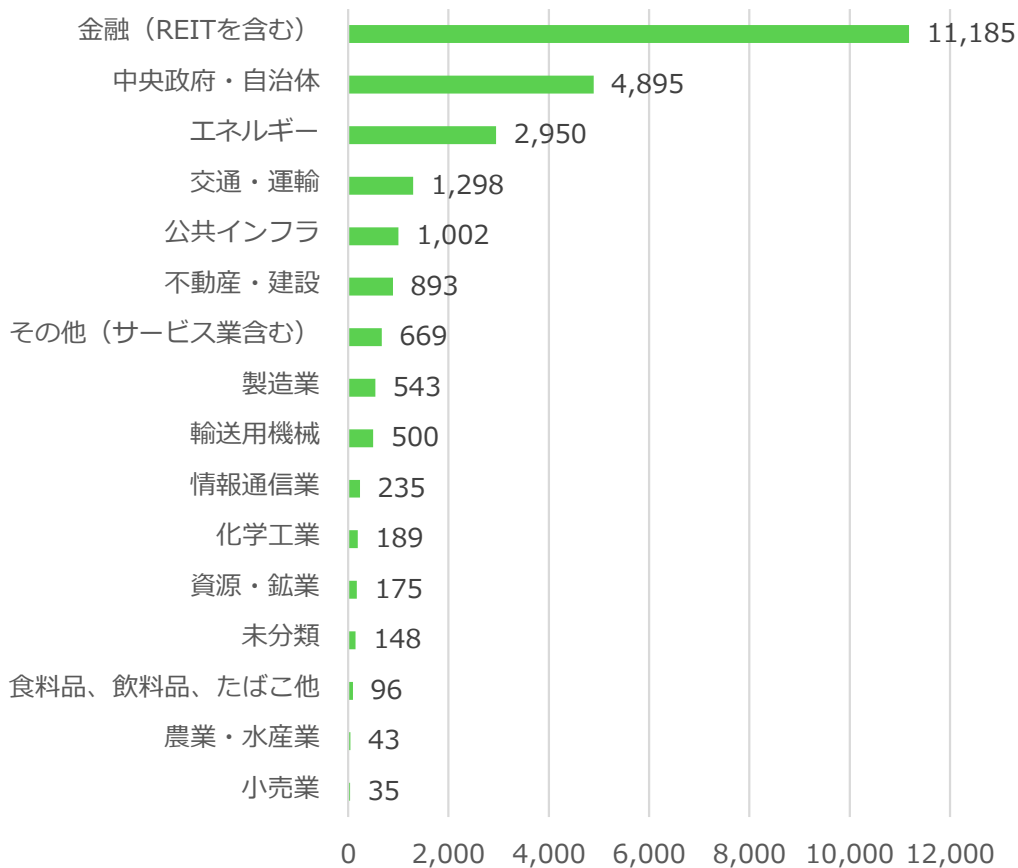
2023年7月27日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

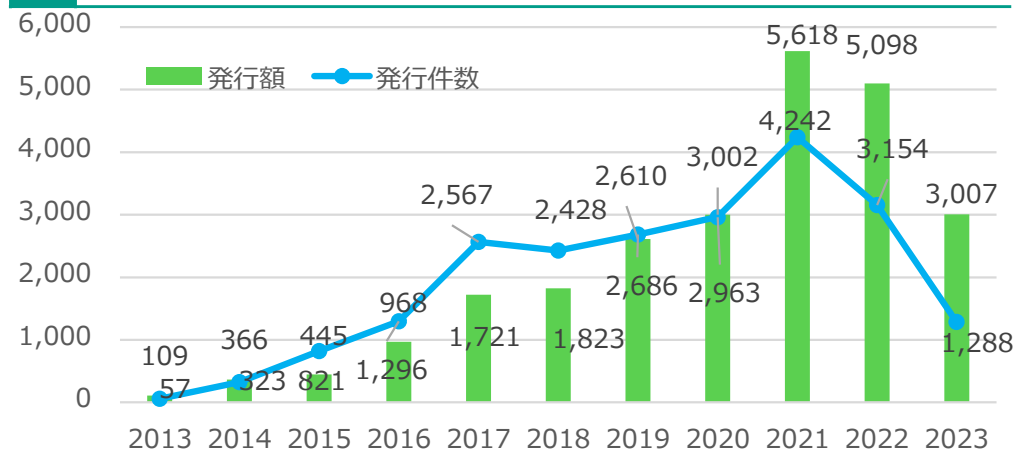
世界のグリーンボンド発行動向

- 2023年6月末時点で、2023年発行額は前年の約6割、発行件数は前年比で約4割になっている。また、累積発行額の45%が金融セクター（REITを含む）による発行。
- 資金使途は、再エネ、省エネ、グリーンビル、グリーン運輸が多いが、その他セクターへも定着してきている。

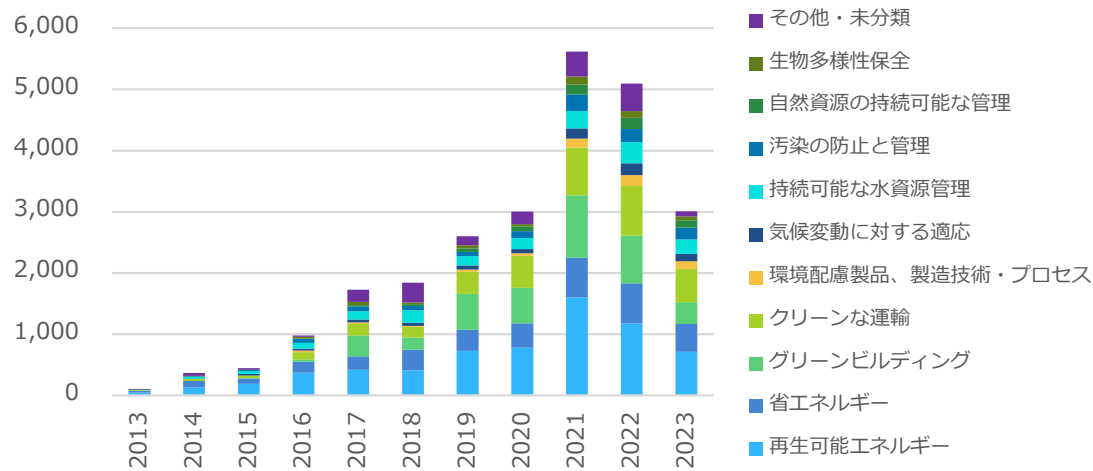
発行体業種別累積発行額（億米ドル）



発行額推移（億米ドル）



資金使途別推移（億米ドル）



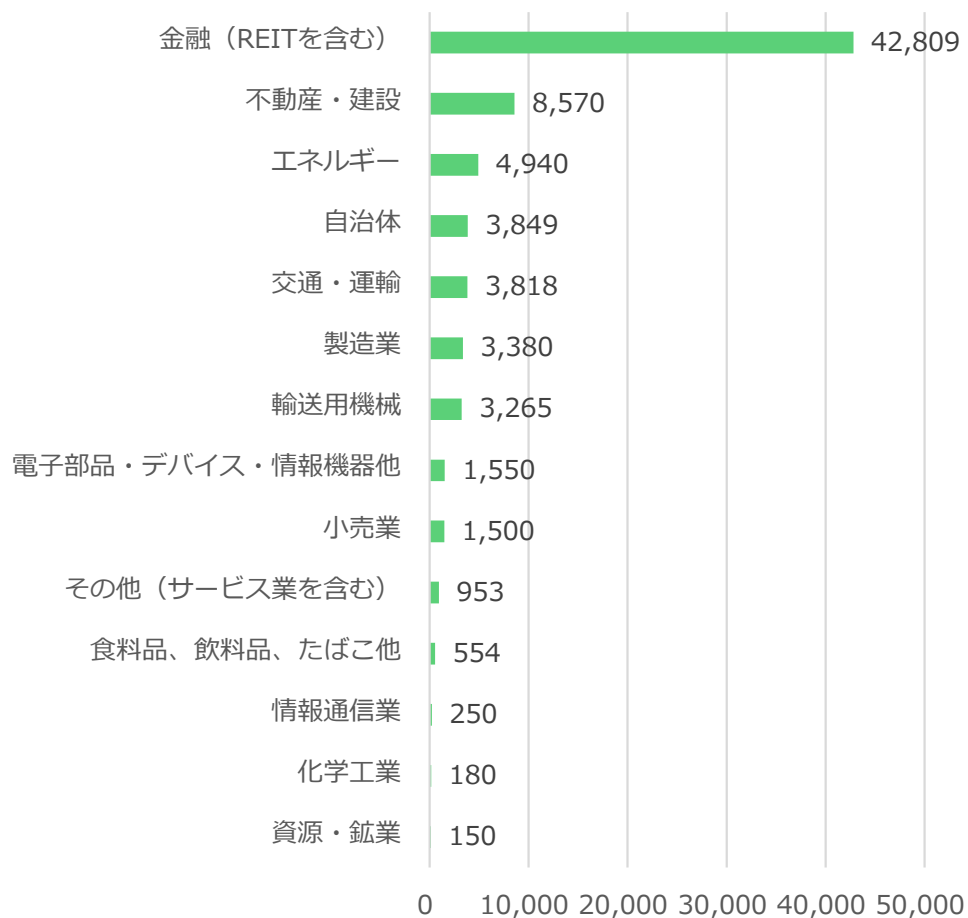
*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

※複数資金使途があるものについては、調達資金総額をセクター数で按分。

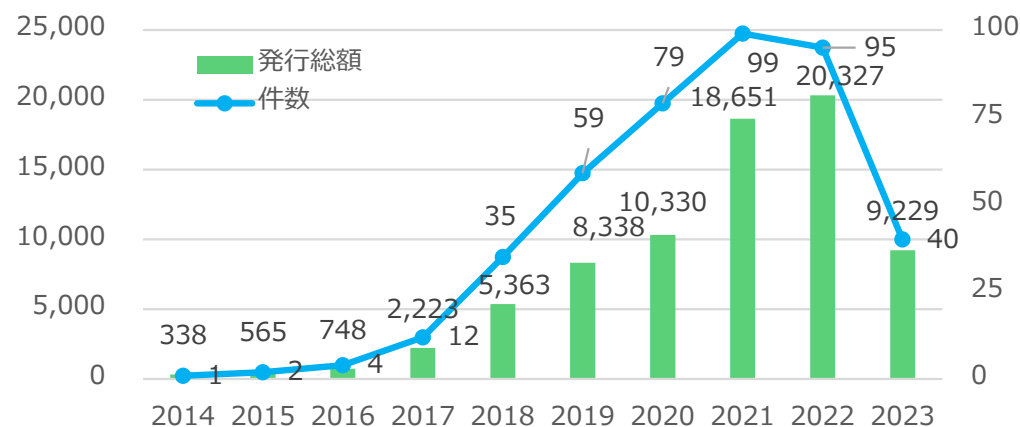
国内のグリーンボンド発行動向

- 発行額・発行件数は、ともに2023年6月末時点で前年同時期と同水準の発行状況となっている。
- 資金使途では再エネ関連も多い一方、世界と比較して省エネ関連の発行が目立つ。

発行体業種別累積発行額（億円）

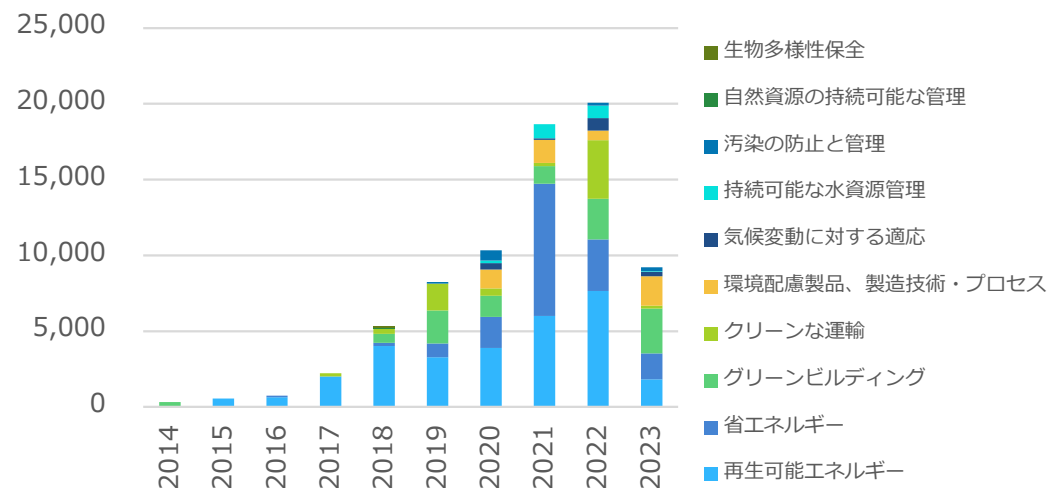


発行額推移（億円）



資金使途別推移（億円）

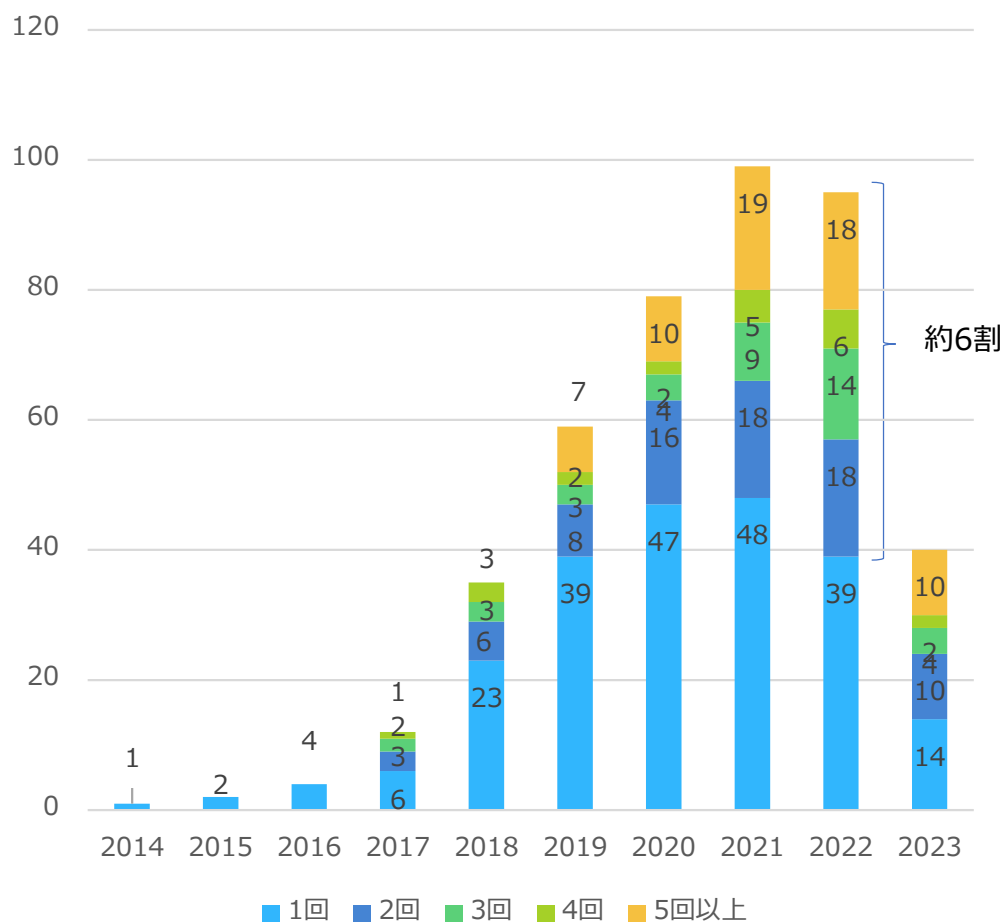
※複数資金使途があるものについては、主要な用途と思われるものに分類



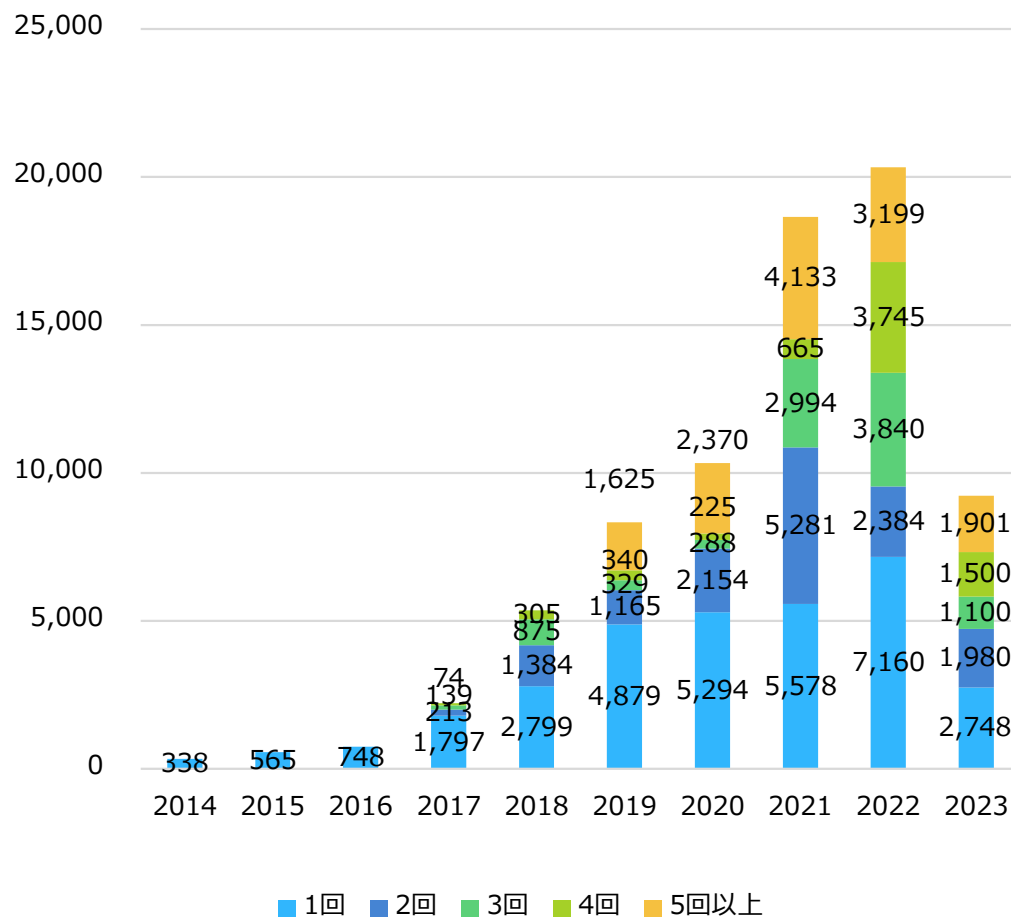
国内のグリーンボンド発行状況分析（発行回数別推移）

- 発行経験がある主体によるグリーンボンド発行は近年件数・金額ともに増加している。
- 一方、新規発行体のグリーンボンド発行件数は近年伸び悩んでおり、発行経験がない主体の巻き込みが必要。

発行回数別発行件数推移（件）



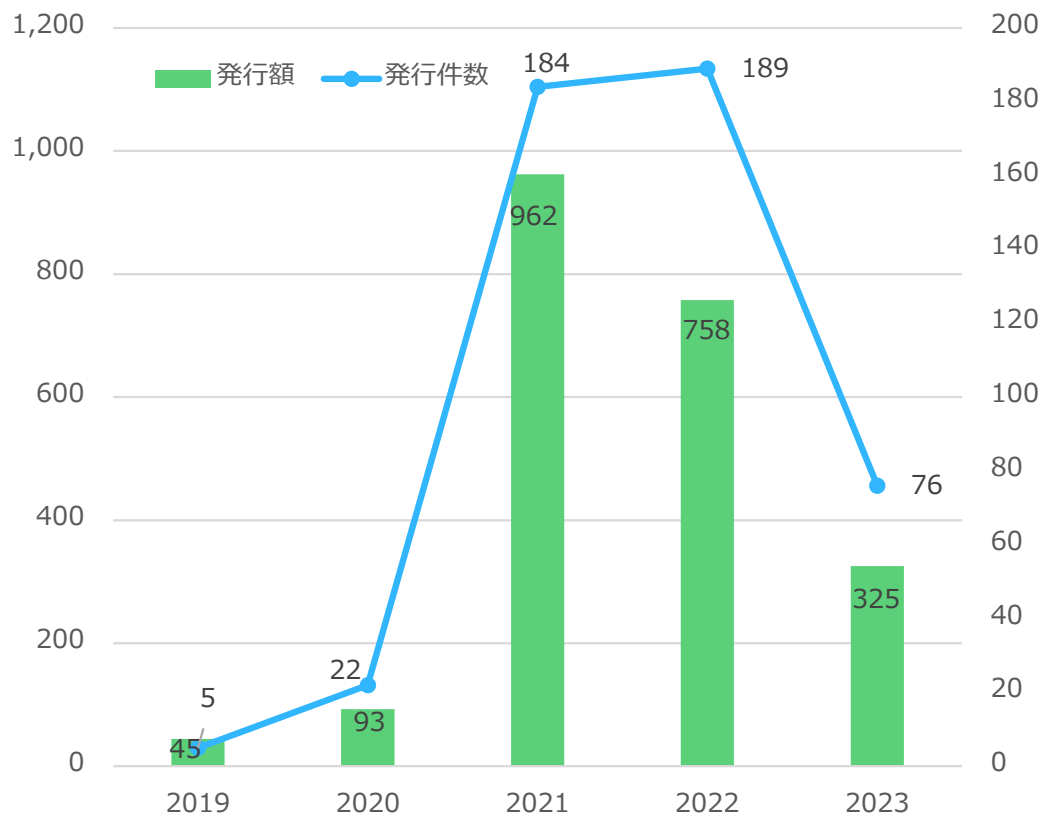
発行回数別発行金額推移（億円）



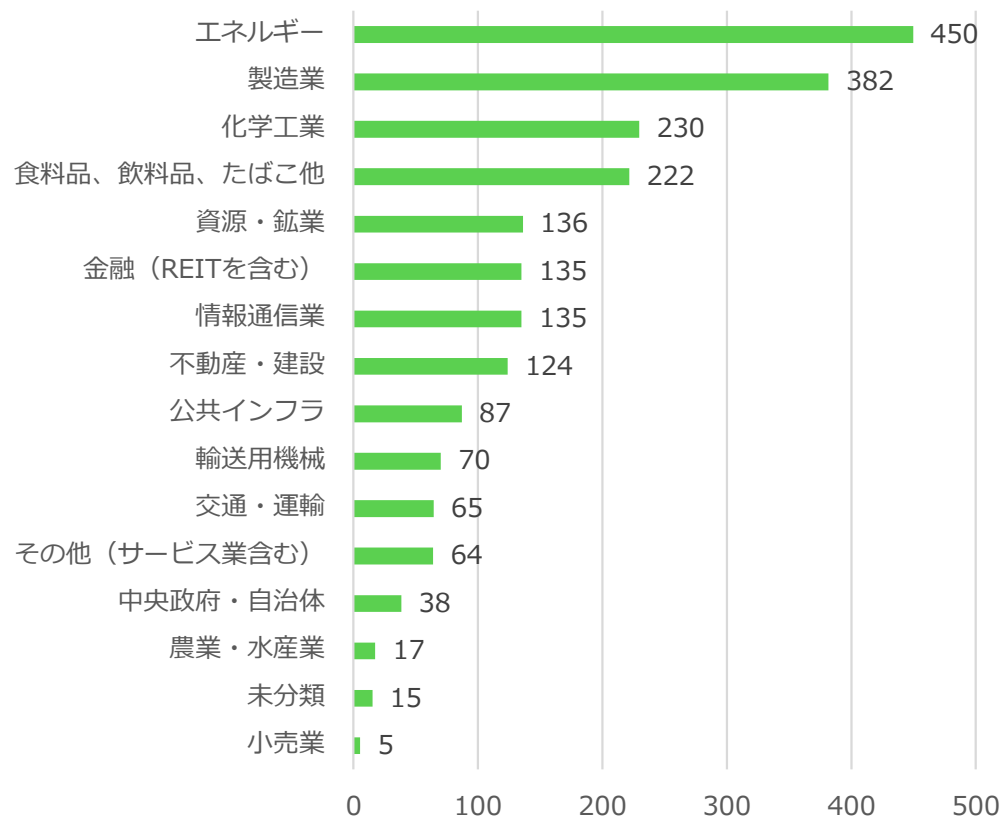
世界のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 2023年6月末時点で発行額・件数ともに、前年同時期比で約4割となっている。
- 累積発行額で見ると、発行体の業種別では、エネルギー、製造業、化学工業の順に発行額が多い。

発行額推移（億米ドル）



発行体業種別累積発行額（億米ドル）

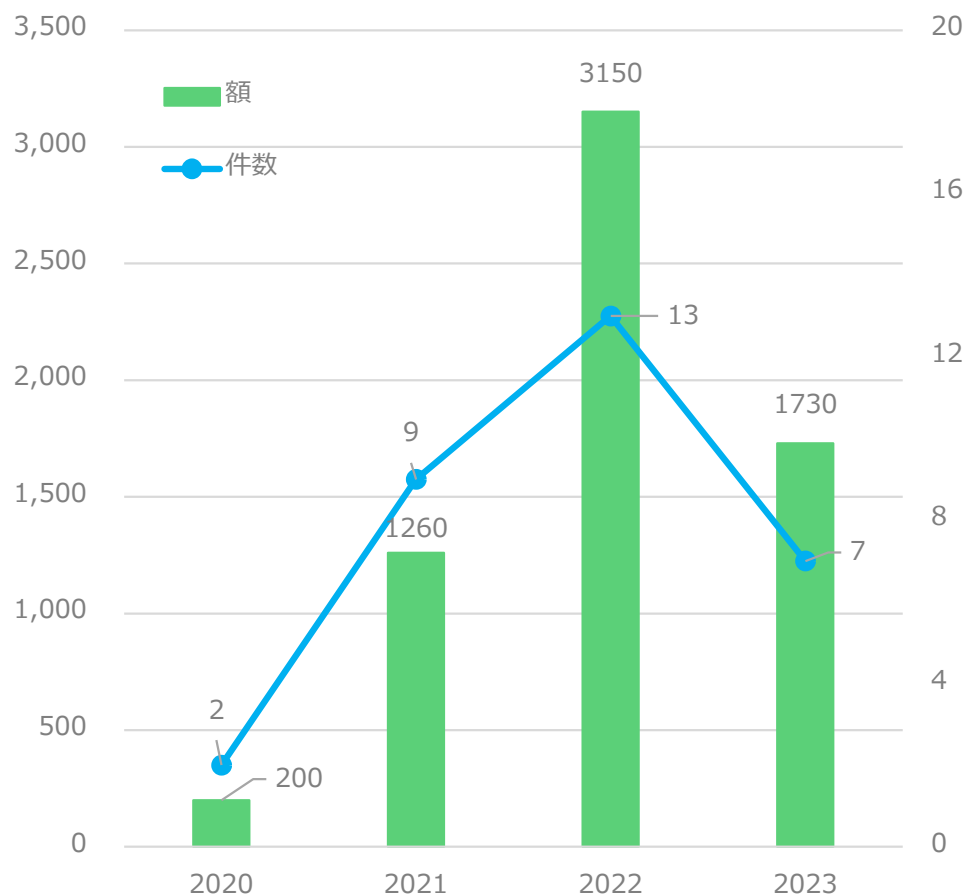


*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

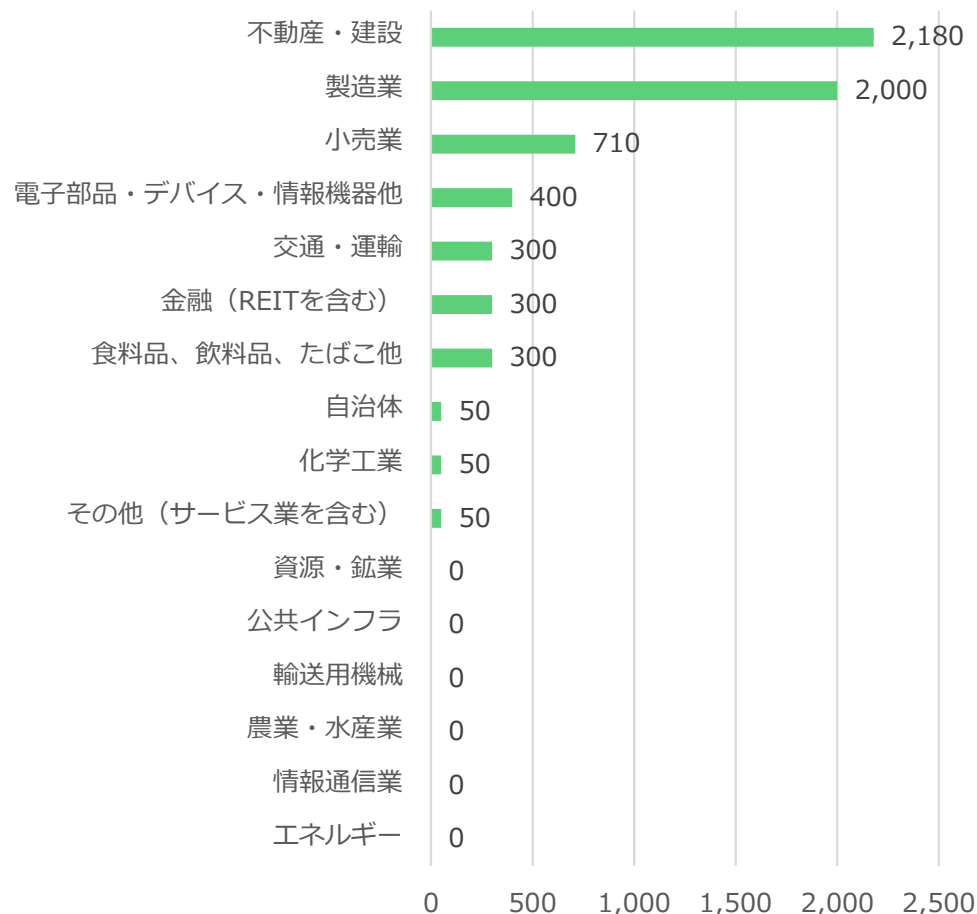
国内のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 国内発行金額は2022年から続き増加傾向で、2023年6月末時点で前年同時期比1.65倍となっている。
- 業種別では世界と異なり、不動産・建設、製造業等の発行額が多いことに加え、未発行業界も多い。

発行額・件数推移（億円）



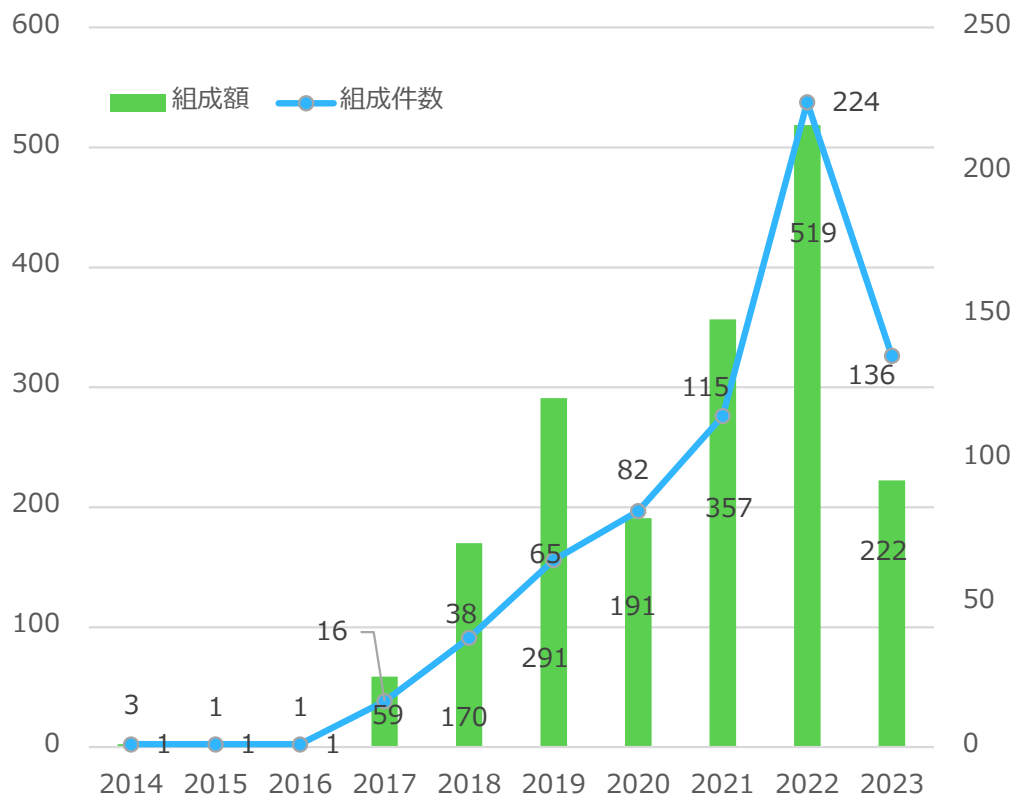
発行体業種別累積発行額（億円）



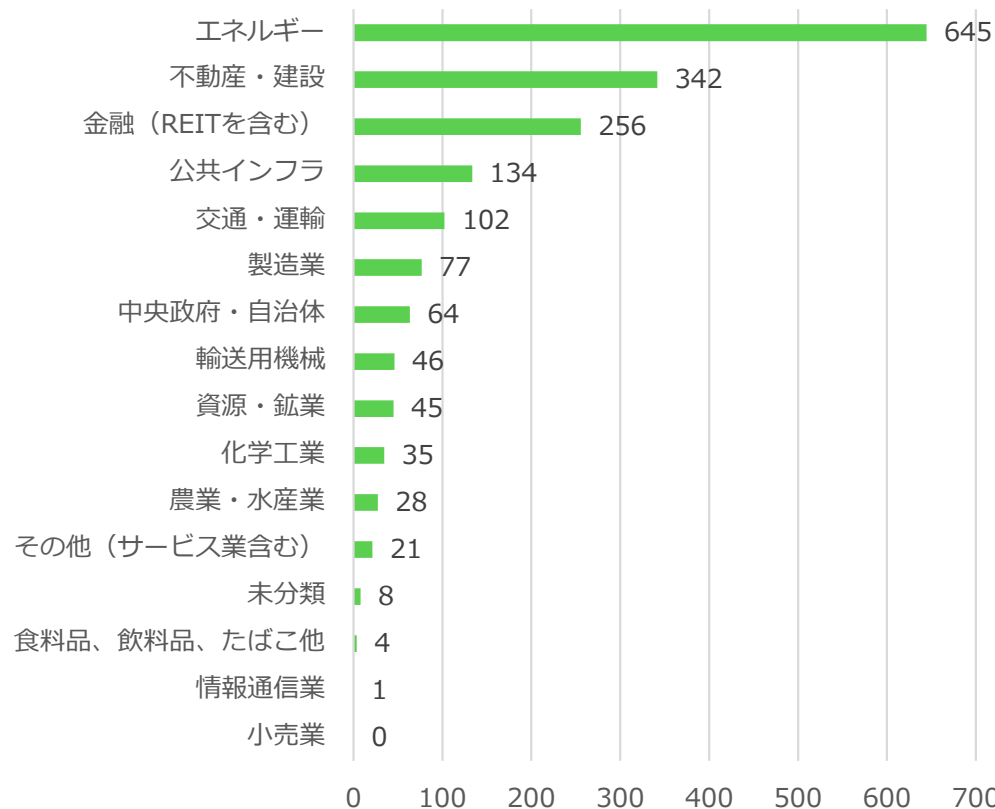
世界のグリーンローン組成動向

- (グリーンボンド市場とは異なり) 2022年の組成額・件数は過去最高を更新。2023年6月末時点で、前年比で組成額は約4割、組成件数は約6割になっている。
- 累積組成額で見ると、借り手業種別には、エネルギー、不動産・建設、金融 (REITを含む) の順に組成額が多い。

組成額推移 (億米ドル)



借り手業種別累積組成額 (億米ドル)

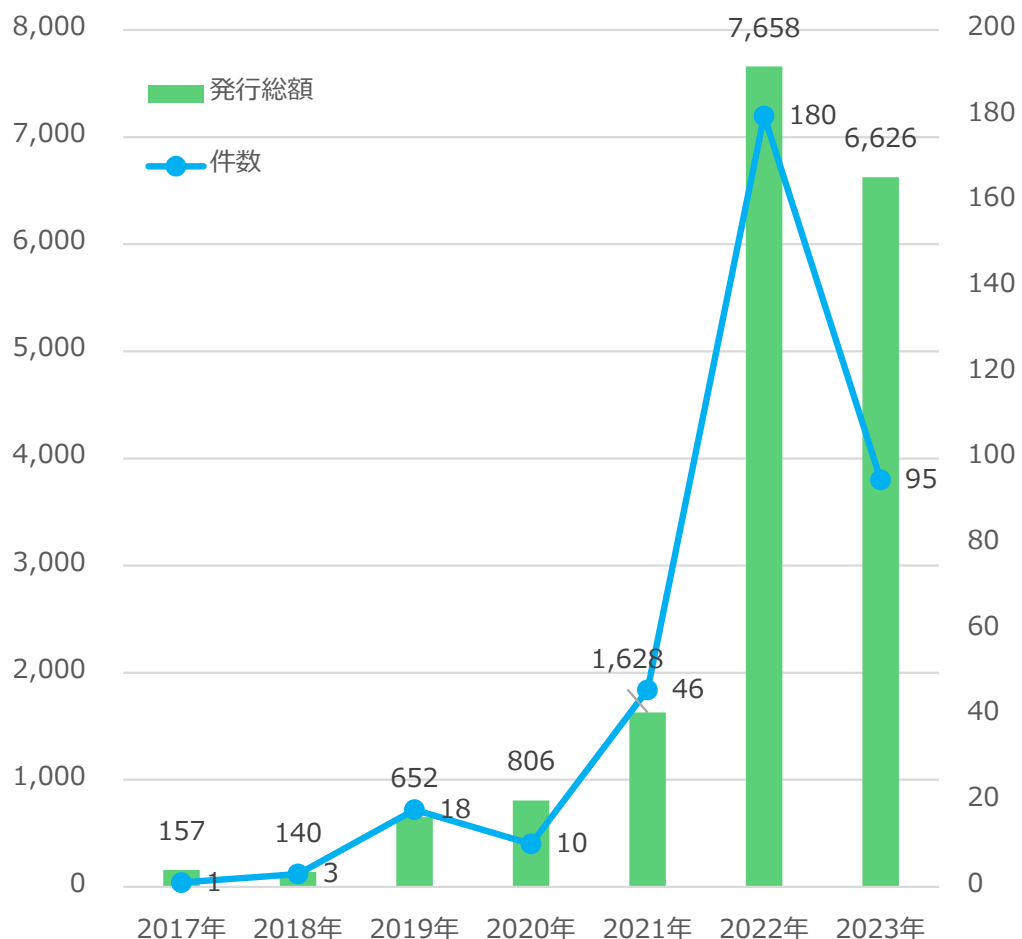


*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

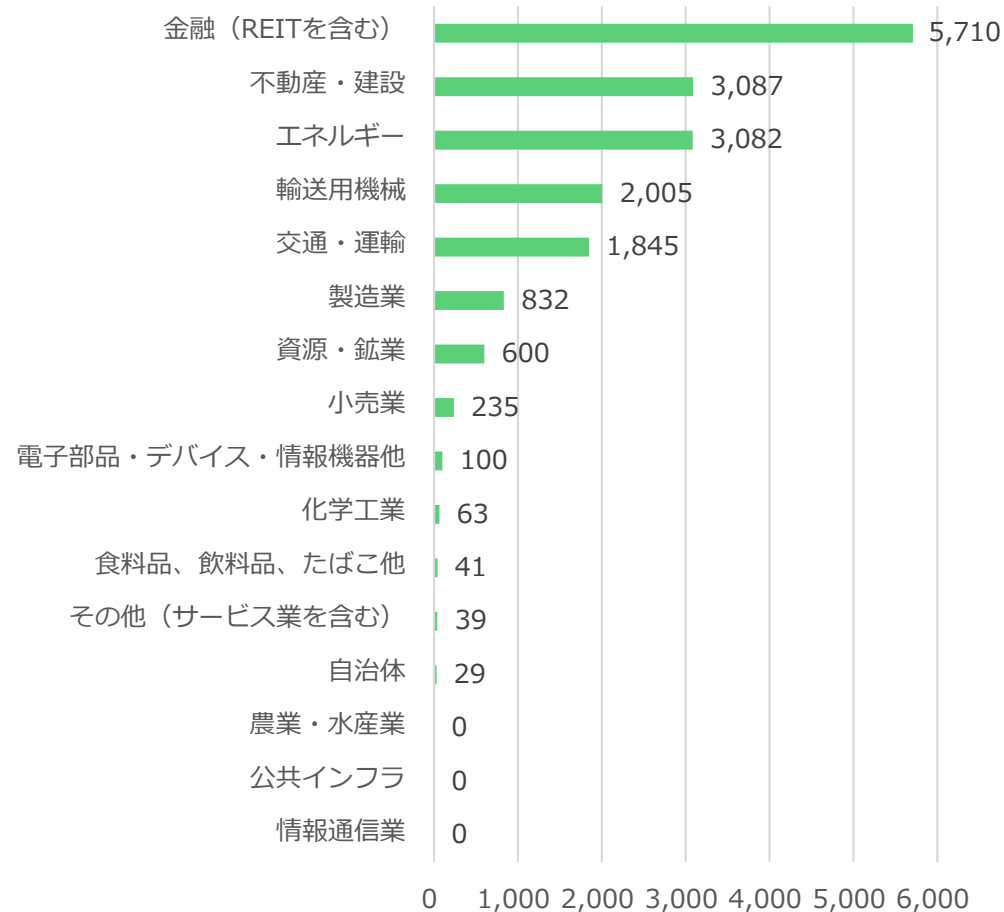
国内のグリーンローン組成動向

- 国内の組成額は大きく増加しており、2023年6月末時点で前年同時期比1.98倍となっている。
- 業種別には世界と同様、金融（REIT含む）、不動産・建設、エネルギーの順に多い。

組成額推移（億円）



借り手業種別累積組成額（億円）



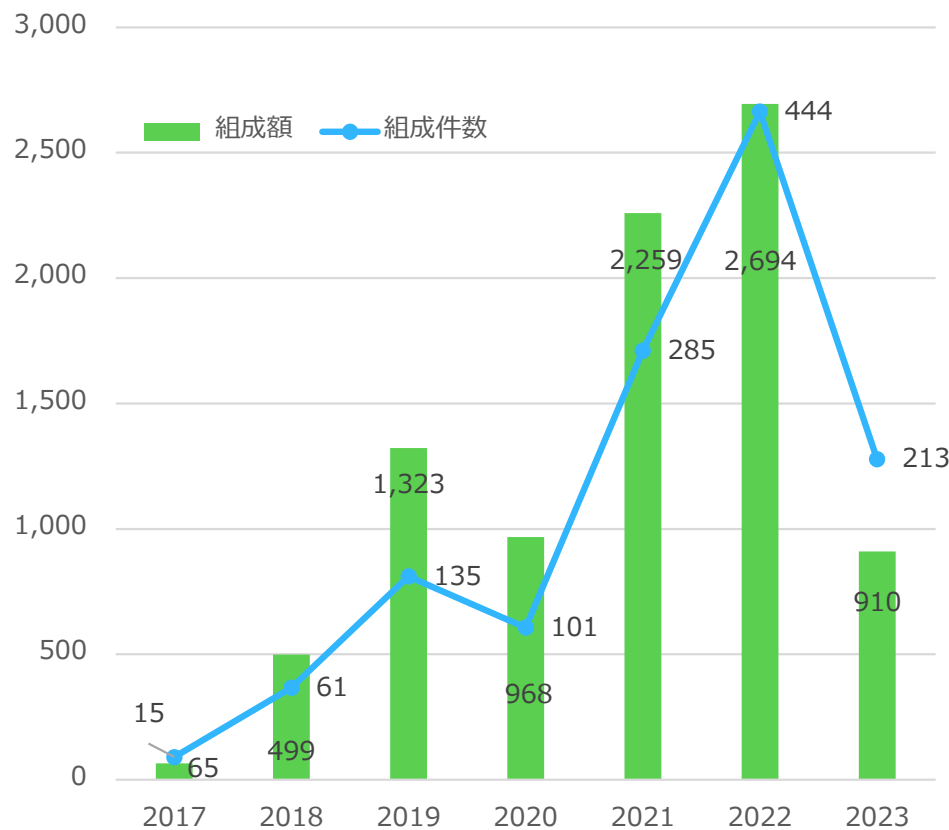
*金額情報の非開示案件は件数のみカウント

出所 環境省, グリーンファイナンスポータル (2023年7月3日時点)

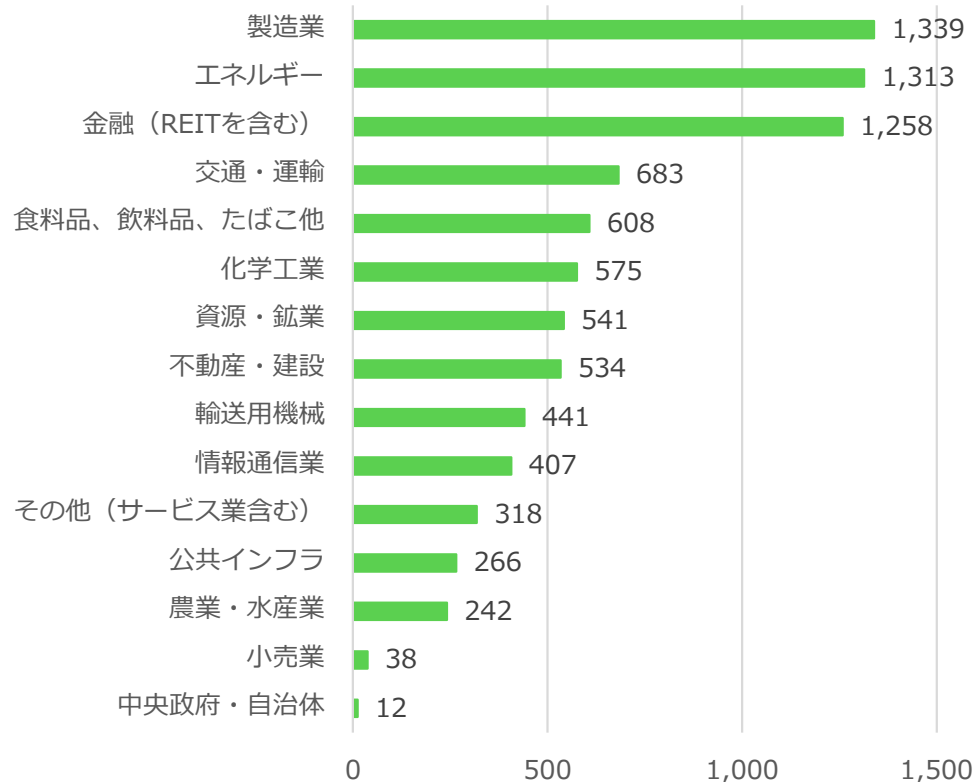
世界のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- (サステナビリティ・リンク・ボンド市場とは異なり) 2022年の組成額・件数は過去最高を更新。2023年は6月末時点で、前年比で組成額は約3.5割、組成件数は約5割になっている。
- 累積組成額で見ると、発行体業種別には製造業、エネルギー、金融 (REITを含む) の順に組成額が多い。

組成額推移 (億米ドル)



借り手業種別累積組成額 (億米ドル)

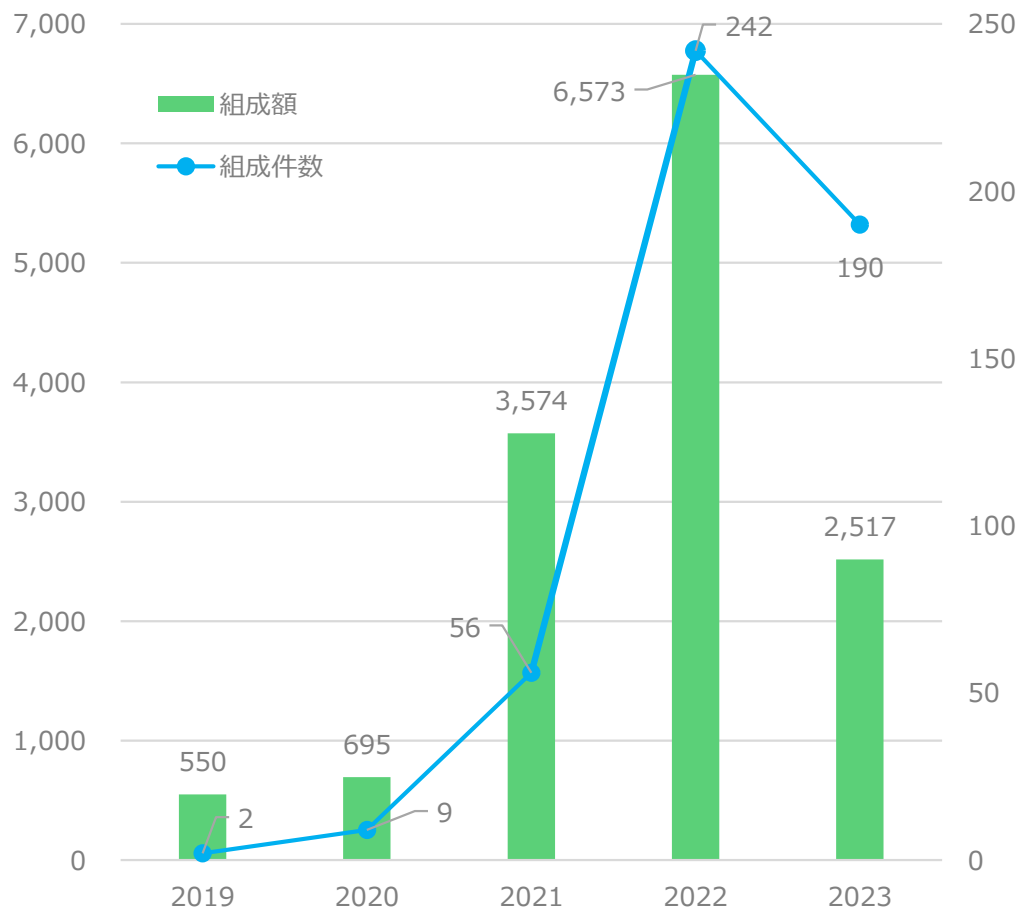


*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

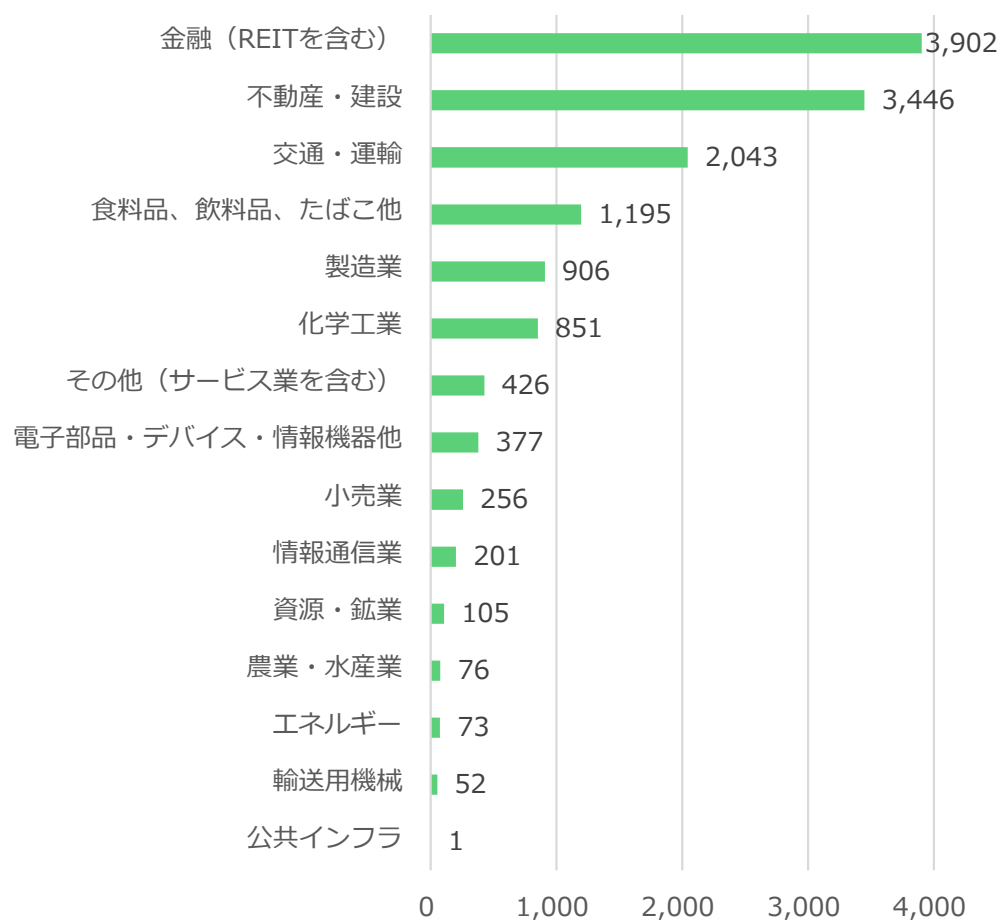
国内のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- 2023年6月末時点で、国内の組成額は前年同時期比で同程度、件数は2.24倍と増加傾向にある。ただし、借入額の非開示非公開での案件が増加しており、組成額も実態としては伸びていると推定される。
- 業種別には世界と同じく金融が多い一方、日本の特徴として交通・運輸、不動産・建設が多い。

組成額推移（億円）



借入手業種別累積組成額（億円）



*金額情報の非開示案件は件数のみカウント